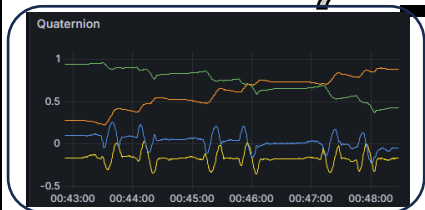


大阪産業大学 研究シーズシート

研究シーズ テーマ	介護・福祉分野におけるニーズと工学技術の融合による福祉用具 や介護ロボットの実現			
分 野	工学、介護、福祉、リハビリテーション			
キーワード	人間中心設計、多職種連携、ラピッドプロトタイピング			
研究者名・職位	本田雄一郎・准教授			
所 属	システム工学部 システム工学科			
研究シーズ概要	身体障害や加齢に伴う運動機能の低下などにより、日常生活における動作が行いにくい人に対して、多種多様な福祉用具の開発や提供が進んできました。施設においては介護ロボットの導入による生産性改善の試みが広まりつつあります。しかし、それらによってもいまだに解決されていない課題が多く残されています。福祉用具・介護ロボットなどの活用や医療的支援により身体負担を軽減できれば、自立した生活を送れる期間の延長が期待できます。 私の研究室では、医療関係者や介護施設の関係者と連携し、現場ニーズを基にした機器開発を進めています。開発した機器の有用性を検証するため、簡便に評価できる評価装置の開発も並行して進めています。			
進捗状況	着想	構想段階	基礎研究段階	実証段階
連携研究の 範囲・方法	福祉用具や介護ロボットの開発については開発の初期段階から相談いただくことが成功の鍵です。企業の持つ技術シーズと私の開発ノウハウを合わせた共同研究・開発を進めることで、企業の技術シーズのみを起点とした開発に陥ることを防ぎ、現場で使われやすい機器開発につなげられます。			
用途・効果 ・市場	多職種連携による開発経験を活かし、利用者と現場の双方で導入・活用しやすい製品の実現が見込めます。			
研究者の 業績等	エビデンスに基づく有効性が求められる介護テクノロジーやリハビリテーション分野向け、実際の身体動作の変化を把握するための動作計測データベースを開発中 データベース 自動データ収集 訓練施設・自宅   Web ブラウザ上で確認(追加アプリのインストール不要) 評価する人のいる場所 ・加速度センサ ・ジャイロセンサ ・クォータニオン ・音  AI 技術と融合した計測手法 データ収集 Web 経由のデータアクセス			

連絡先	大阪産業大学 社会連携・研究推進センター 産業研究所事務室 TEL : 072-875-3001 (内線 2816・2809) FAX : 072-875-6551 E-mail : sangaku@cnt.osaka-sandai.ac.jp
-----	---